

2008.2.8
四国新聞

県議会特別委

地域活性化向け

学生と意見交換

香川大の研究科視察

県議会地域再生・産業

活性化特別委員会（高田

良徳委員長）が七日、高

松市幸町の香川大大学院

地域マネジメント研究科

を視察した。参加した県

議は、学生が発表した地

域活性化への取り組み事

例などをテーマに意見交

換した。

井原理代研究科長は冒

頭、研究科設置の経緯や

特徴などを説明。「地域

の中核的な担い手となる

プロフェッショナルを養

成するとともに、ここで

の教育・研究が、地域活

性化や魅力ある地域創造

に寄与できるよう、努力

していきたい」と一層の

理解と協力を求めた。

地域活性化の取り組み

事例を発表したのは研究

科一年の三グループ。学

生は、実践型インターン

シップを契機に、新しい

ホームページ企画を推進

した事例のほか、讃岐夢

豚や和三盆など、すべて

県産素材を用いた焼き豚

の製造販売という新規事

業などについて、独自の

考えや提案を入れながら

分かりやすく紹介した。

地域マネジメント研究

科は、中四国地域初のビ

ジネススクールとして二

〇〇四年四月に開設。こ

れまでに六十三人の卒業

生を送り出している。



学生から地域活性化の取り組み事例を聞く県議ら
＝高松市幸町、香川大